



2020年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年12月15日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東
 コード番号 7983 URL <https://www.miroku-jp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 (TEL) 088-863-3310
 定時株主総会開催予定日 2021年1月27日 配当支払開始予定日 2021年1月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年1月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期の連結業績 (2019年11月1日～2020年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期	13,635	△11.3	562	△51.1	756	△40.4	440	△53.1
2019年10月期	15,368	13.8	1,149	20.4	1,269	15.6	938	14.9

(注) 包括利益 2020年10月期 414百万円 (△57.5%) 2019年10月期 975百万円 (41.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年10月期	149.39	—	3.2	4.3	4.1
2019年10月期	322.41	—	7.2	7.5	7.5

(参考) 持分法投資損益 2020年10月期 49百万円 2019年10月期 30百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期	17,545	13,778	78.5	4,669.48
2019年10月期	17,355	13,514	77.9	4,579.64

(参考) 自己資本 2020年10月期 13,778百万円 2019年10月期 13,514百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年10月期	1,191	△1,003	△151	2,883
2019年10月期	1,529	△564	△366	2,851

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年10月期	—	25.00	—	25.00	50.00	148	15.5	1.1
2020年10月期	—	25.00	—	25.00	50.00	150	33.5	1.1
2021年10月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		39.3	

3. 2021年10月期の連結業績予想 (2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,100	△0.9	220	△52.5	270	△48.6	180	△38.9	61.00
通期	13,400	△1.7	350	△37.7	450	△40.5	300	△31.9	101.67

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 一社（社名）、除外 一社（社名） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期	3,005,441株	2019年10月期	3,005,441株
② 期末自己株式数	2020年10月期	54,785株	2019年10月期	54,547株
③ 期中平均株式数	2020年10月期	2,950,727株	2019年10月期	2,912,079株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
役員の異動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資や雇用・所得環境の改善が見られ回復基調で推移していましたが、春先以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、人の移動の制限とそれに伴う消費活動の低下により、急速に悪化しました。感染の防止策を講じつつ経済の活性化が目指されましたが、回復は鈍く厳しい状況となりました。海外においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済が大きく悪化し、不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は13,635百万円(前期比11.3%減)、経常利益は756百万円(前期比40.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は440百万円(前期比53.1%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(猟銃事業)

ボルトアクションライフルにつきましては、販売数量・売上高ともに前期を若干上回りましたが、上下二連銃につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による射撃場の一時閉鎖や競技会の中止等により、販売数量・売上高ともに前期を大きく下回りました。その結果、売上高は7,403百万円(前期比9.3%減)、セグメント利益(営業利益)は390百万円(前期比44.0%減)となりました。

(工作機械事業)

機械部門は販売台数及び価格が高水準であった前期と比較し、売上高・利益ともに減少しました。ツール部門は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、販売先である企業の生産が停滞したため販売数量が伸びず、売上高・利益ともに減少しました。加工部門は他部門より影響が少なく、売上高・利益ともに前期から若干の減少となりました。その結果、売上高は2,433百万円(前期比20.1%減)、セグメント利益(営業利益)は424百万円(前期比40.6%減)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高158百万円を含んでおります。

(自動車関連事業)

木製ステアリングハンドルでは、付加価値の高い純木製ステアリングハンドル及び3Dドライ転写ステアリングハンドルの販売数量は前期を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外生産車向けである部分ウッドステアリングハンドルは大きく落ち込み、売上高・利益ともに前期を下回りました。その結果、売上高は3,953百万円(前期比5.1%減)、セグメント利益(営業利益)は2百万円(前期比50.0%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて189百万円増加し、17,545百万円となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が537百万円、投資有価証券が101百万円減少したものの、たな卸資産が208百万円、機械装置及び運搬具が434百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて74百万円減少し、3,767百万円となりました。

主な要因は、未払法人税等が106百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、流動比率は前連結会計年度末と比較し、7.4ポイント減少の375.2%となりましたが、引き続き安定した財政状態を維持できております。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて263百万円増加し、13,778百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が290百万円増加したこと等によるものであります。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.9%から78.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて32百万円増加し、2,883百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,191百万円(前連結会計年度は1,529百万円の収入)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益669百万円、減価償却費685百万円、売上債権の減少額537百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額470百万円、たな卸資産の増加額208百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,003百万円(前連結会計年度は564百万円の支出)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出1,015百万円、利息及び配当金の受取額46百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は151百万円(前連結会計年度は366百万円の支出)となりました。

これは、主に配当金の支払額150百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

猟銃事業につきましては、欧州市場の弱さはあるものの、コロナ禍のなかでも持ち直しの動きが見られる米国経済に牽引され、販売は回復してくるものと思われませんが、次年度につきましては、付加価値の高い上下二連銃は回復に時間がかかることを想定し、また、前年度の設備投資における減価償却費負担増等もあることから減益予想としています。

工作機械事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による景気の先行き不透明感により、投資意欲の後退が見られ、機械部門の受注・売上は減少見込みであり、次年度は減益予想であります。

自動車関連事業につきましては、今後の主力製品となる部分ウッドステアリングハンドルや3Dドライ転写ステアリングハンドルを収益の柱と位置づけ、改善活動を推進し売上高と利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、次期の通期連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を最大限考慮し、売上高13,400百万円(前期比1.7%減)、営業利益350百万円(前期比37.7%減)、経常利益450百万円(前期比40.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円(前期比31.9%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当連結会計年度 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,851,110	2,883,850
受取手形及び売掛金	2,064,657	1,527,473
たな卸資産	3,939,079	4,147,263
その他	267,451	367,378
貸倒引当金	△173	△168
流動資産合計	9,122,124	8,925,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,866	1,442,780
機械装置及び運搬具(純額)	1,505,482	1,939,517
土地	1,687,995	1,687,995
建設仮勘定	10,511	27,842
その他(純額)	129,160	131,390
有形固定資産合計	4,790,017	5,229,527
無形固定資産	63,366	89,916
投資その他の資産		
投資有価証券	2,767,381	2,666,229
繰延税金資産	387,568	416,775
その他	238,323	230,030
貸倒引当金	△12,980	△13,180
投資その他の資産合計	3,380,293	3,299,855
固定資産合計	8,233,677	8,619,299
資産合計	17,355,802	17,545,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当連結会計年度 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,962	1,024,361
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	200,000
未払法人税等	186,097	79,780
賞与引当金	156,798	114,056
役員賞与引当金	39,292	27,585
その他	818,196	832,967
流動負債合計	2,384,346	2,378,749
固定負債		
長期借入金	400,000	200,000
繰延税金負債	245,883	233,705
役員退職慰労引当金	166,311	166,056
退職給付に係る負債	637,288	627,960
その他	7,944	160,600
固定負債合計	1,457,428	1,388,322
負債合計	3,841,774	3,767,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	11,617,351	11,908,041
自己株式	△30,264	△30,730
株主資本合計	13,003,992	13,294,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,595	460,281
為替換算調整勘定	29,438	23,527
その他の包括利益累計額合計	510,034	483,809
純資産合計	13,514,027	13,778,025
負債純資産合計	17,355,802	17,545,097

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
売上高	15,368,111	13,635,747
売上原価	12,979,953	11,952,721
売上総利益	2,388,158	1,683,025
販売費及び一般管理費	1,239,012	1,120,906
営業利益	1,149,145	562,118
営業外収益		
受取配当金	30,391	27,158
持分法による投資利益	30,550	49,666
助成金収入	1,575	66,045
スクラップ売却益	19,195	11,899
その他	43,571	41,455
営業外収益合計	125,285	196,225
営業外費用		
支払利息	2,392	489
会員権評価損	1,000	—
その他	1,466	945
営業外費用合計	4,858	1,435
経常利益	1,269,572	756,909
特別利益		
受取保険金	119,319	7,883
補助金収入	2,664	7,397
特別利益合計	121,984	15,280
特別損失		
固定資産除却損	5,068	2,854
投資有価証券評価損	—	99,587
特別損失合計	5,068	102,441
税金等調整前当期純利益	1,386,488	669,748
法人税、住民税及び事業税	429,054	260,555
法人税等調整額	18,538	△31,606
法人税等合計	447,593	228,948
当期純利益	938,895	440,800
親会社株主に帰属する当期純利益	938,895	440,800

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
当期純利益	938,895	440,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,709	△22,185
為替換算調整勘定	△3,602	△3,497
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,600	△543
その他の包括利益合計	36,506	△26,225
包括利益	975,401	414,574
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	975,401	414,574

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	863,126	519,703	10,826,279	△79,622	12,129,486	437,639	35,889	473,528	12,603,015
当期変動額									
剰余金の配当			△147,823		△147,823				△147,823
親会社株主に帰属 する当期純利益			938,895		938,895				938,895
自己株式の取得				△423	△423				△423
自己株式の処分		34,075		49,782	83,858				83,858
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						42,956	△6,450	36,506	36,506
当期変動額合計	—	34,075	791,071	49,358	874,506	42,956	△6,450	36,506	911,012
当期末残高	863,126	553,778	11,617,351	△30,264	13,003,992	480,595	29,438	510,034	13,514,027

当連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	863,126	553,778	11,617,351	△30,264	13,003,992	480,595	29,438	510,034	13,514,027
当期変動額									
剰余金の配当			△150,111		△150,111				△150,111
親会社株主に帰属 する当期純利益			440,800		440,800				440,800
自己株式の取得				△465	△465				△465
自己株式の処分		—		—	—				—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△20,313	△5,911	△26,225	△26,225
当期変動額合計	—	—	290,689	△465	290,223	△20,313	△5,911	△26,225	263,997
当期末残高	863,126	553,778	11,908,041	△30,730	13,294,216	460,281	23,527	483,809	13,778,025

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,386,488	669,748
減価償却費	593,535	685,851
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△318	195
受取利息及び受取配当金	△30,623	△27,496
持分法による投資損益(△は益)	△30,550	△49,666
助成金収入	△1,575	△66,045
支払利息	2,392	489
受取保険金	△119,319	△7,883
補助金収入	△2,664	△7,397
固定資産除却損	5,068	2,854
投資有価証券評価損益(△は益)	—	99,587
売上債権の増減額(△は増加)	△82,560	537,182
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,146	△208,184
仕入債務の増減額(△は減少)	63,697	△59,543
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,199	△42,742
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	7,480	△11,707
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,502	△9,328
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,529	△255
その他	126,874	22,526
小計	1,923,006	1,528,183
助成金の受取額	1,575	66,045
保険金の受取額	119,319	7,883
補助金の受取額	2,664	7,397
法人税等の支払額	△563,945	△470,778
法人税等の還付額	46,553	52,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,529,175	1,191,098
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△622,667	△1,015,434
無形固定資産の取得による支出	△35,062	△50,323
利息及び配当金の受取額	49,398	46,221
保険積立金の払戻による収入	48,564	—
その他	△4,781	15,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△564,548	△1,003,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△700,000	—
自己株式の処分による収入	83,858	—
配当金の支払額	△147,823	△150,111
利息の支払額	△2,466	△489
その他	△423	△465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366,855	△151,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,603	△3,546
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	594,166	32,740
現金及び現金同等物の期首残高	2,256,943	2,851,110
現金及び現金同等物の期末残高	2,851,110	2,883,850

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、経済や企業活動に影響が生じており、今後の収束時期等を合理的に予測することは、極めて困難な状況であります。

当社グループでは、一部受注減等の影響が少なくとも2022年10月期までの一定期間にわたり続くとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを会計処理に反映しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、想定を上回り深刻化、長期化した場合には、翌連結会計年度以降における当社グループの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、事業の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は純粋持株会社として、グループ戦略の方針並びに事業会社の統括管理を行っており、事業活動は、当社傘下の子会社及び関連会社が展開しております。

当社グループは、国内・海外において猟銃、工作機械及び自動車関連の事業活動を展開しており、「猟銃事業」、「工作機械事業」及び「自動車関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

「猟銃事業」は、散弾銃、ライフル銃、猟銃関連商品を生産及び販売しております。「工作機械事業」は、深穴加工機、超精密研磨機、深穴加工用工具を生産及び販売すると共に、穴明加工業務を行っております。「自動車関連事業」は、自動車用ハンドル、自動車関連商品を仕入及び販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,161,332	3,032,751	4,168,267	15,362,350	5,761	15,368,111	—	15,368,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,209	—	13,209	—	13,209	△13,209	—
計	8,161,332	3,045,960	4,168,267	15,375,560	5,761	15,381,321	△13,209	15,368,111
セグメント利益 又は損失(△)	696,866	714,696	4,726	1,416,289	△4,732	1,411,556	△262,410	1,149,145
セグメント資産	8,110,861	4,085,884	1,739,173	13,935,919	572,754	14,508,674	2,847,128	17,355,802
その他の項目								
減価償却費	462,511	131,196	4,422	598,129	—	598,129	△4,594	593,535
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	603,589	102,923	320	706,833	—	706,833	—	706,833

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△262,410千円には、セグメント間取引消去4,595千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△267,006千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

(2) セグメント資産の調整額2,847,128千円には、セグメント間取引消去△14,141千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産2,861,270千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,403,560	2,275,080	3,953,710	13,632,352	3,395	13,635,747	—	13,635,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	158,851	—	158,851	—	158,851	△158,851	—
計	7,403,560	2,433,932	3,953,710	13,791,204	3,395	13,794,599	△158,851	13,635,747
セグメント利益	390,165	424,715	2,361	817,243	1,269	818,512	△256,393	562,118
セグメント資産	8,586,417	3,787,249	1,740,166	14,113,833	627,233	14,741,066	2,804,031	17,545,097
その他の項目								
減価償却費	562,193	126,212	4,361	692,768	—	692,768	△6,916	685,851
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,113,078	75,709	929	1,189,718	—	1,189,718	△34,872	1,154,845

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△256,393千円には、セグメント間取引消去△27,955千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△228,437千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

(2) セグメント資産の調整額2,804,031千円には、セグメント間取引消去△111,966千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産2,915,998千円が含まれております。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△34,872千円は、未実現利益に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
1株当たり純資産額	4,579円64銭	4,669円48銭
1株当たり当期純利益金額	322円41銭	149円39銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	938,895	440,800
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	938,895	440,800
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,912	2,950

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2021年1月27日予定)

1. 新任取締役候補

取締役 稲田 勝裕
(非常勤 取締役)

(現 ミロク機械株式会社 代表取締役社長)